

# 大塚ホールディングス株式会社 2015年度 第1四半期決算

## 質疑応答要旨

2015年5月13日

**Q1:** 2015年度下期に計上を予定していたブレクスピプラゾールの開発マイルストーンが既に2015年第1四半期の売上に按分計上されている分を除けば医療関連事業もNC関連事業も進捗状況は計画通りか？

**A1:** アバニアの連結数値は暫定値だが、基本的には計画通りに進捗している

**Q2:** 研究開発費の進捗が計画に対して遅れているが、通期計画に変更はないか？

**A2:** 一部の試験で期ずれがあり研究開発費の進捗が遅れている。既にSGI-110、ナルメフェンおよびTAS-118が今期P3を開始し、年内にAVP-786のP3開始等も控えているため、現時点では通期計画を変更していない。今後開発プロジェクトの見直しも予定しているため、上期が終了した時点で通期見込みの変更を含め再検討予定

**Q3:** 足元の米国Abilifyの売上状況は？後発品が承認された4月28日以降劇的に減少しているか？

**A3:** 足元の売上状況は現在分析中である。2015年8月の半期決算発表時に特許切れ後の売上状況をご説明する予定

**Q4:** 米国でAbilify後発品の承認が独占期間満了日から9日間ほど遅れたが、その影響は？

**A4:** 現時点において計画と大きな乖離はない

**Q5:** まだAbilifyの米国売上が残っているにも関わらず、営業利益に対する為替影響が▲0億円なのは何故か？

**A5:** 2015年度はAbilifyの米国売上が減少する計画のため、前年と比較してBMSに対する共同販促費支払い比率が増加している影響

**Q6:** AVP-786のP3に関するFDAとの協議の進捗は？開始予定時期は？

**A6:** FDAとの協議は順調に進捗。試験は2015年度中に開始予定

Q7: 国内のサムスカについて、IMSデータではADPKD患者向けの30mgの処方箋シェアが2%程度、全例調査を実施中にしては立ち上がりが遅いのは？日本のADPKD患者数の見込みよりも少なかったのか？

A7: ADPKD患者に対するサムスカの処方箋は、大塚製薬が提供するイーラーニングを受講した医師のみに限定しており、慎重に進めていることが影響していると考えている。日本のADPKD患者数が見込みより少なかったとは考えていない

Q8: アバニアの連結について、短信情報ではのれん約3800億円を20年償却と記載されているが、今期の通期計画にアバニアの連結は織り込まれていたのか？

A8: 今期の計画には既に織り込まれている。アバニアの資産は現在暫定的にすべて、のれんに計上しているが、今後他の資産項目を精査し、確定後は償却期間、償却金額も変動する可能性がある

Q9: NC関連事業の進捗は？売上は改善しているが、営業利益の進捗は計画通りか？

A9: NC製品は夏場の6月以降が最盛期。2015年第1四半期はファーマバイトの売上好調等により海外は計画を上回っている。国内を含むNC関連事業全体の売上・営業利益はほぼ計画通りに進捗している

Q10: ニューデクスタの売上実績は？

A10: ニューデクスタの売上実績は公開していない。IMSデータでは2015年1-3月累計で\$ 39Mil

Q11: 2015年3月から開始し、2016年12月に終了予定とClinicalTrial.govに掲載されているルンドベック社のアミロイドβワクチンLu AF20513のP1について、中間解析のデータ開示予定はあるか？

A11: 中間解析の予定はないと聞いている

Q12: タケキャブのコプロモーションフィー収入はどの項目に計上されるのか

A12: 大塚製薬の取分相当額が医療関連事業の国内売上高として計上される。金額開示は行わない